



【学習目標】

- 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

教科書 「見つめて 広げて 図画工作 5・6 年下」 (日本文教出版)

持ち物

教科書	のり	はさみ	彫刻刀
クーピー	クレパス	絵の具セット	画版
ねんどばん 粘土板			

その他必要なものについては、その都度連絡させていただきます。

【学習の約束】

- いろいろな形や色など、自分のイメージをもちながら取り組みましょう。
- 道具や用具の使い方を知り、安全に使いましょう。
- 自分や友達の作品の面白さや楽しさを見つけましょう。
- 道具の使い方や片付けのルールを守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前期	後期
(絵)「くつの絵」 (工作)「12年後のわたし」 (絵)「フェイスグラフィックス」 (鑑賞)「この筆あと、どんな空？」	(絵)「風景画」 (鑑賞)「文化祭の作品」 (絵)版画 (立体)「ブックスタンド」
※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える、または実施できない場合もあります。	

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
技能 知識・ 創作 する	絵や工作などで自分の表したいものをつくる。	授業の様子(作品作り・発言・発表) 作品(絵・立体・工作・造形遊び)
思考・ 表現 判断	豊かな発想をし、表し方を工夫する。作品のよさや美しさを 感じ取ったり、味わったりする。	授業の様子(作品作り・発言・発表) 作品(絵・立体・工作・造形遊び) 鑑賞の様子 ワークシート ふりかえり
取り 組む 主体的に 学習に 態度	主体的に図画工作の学習にとりくむ。 ・楽しく表現したり鑑賞したりする活動にイメージをもちながら 取り組もうとしている。 ・楽しく発想や構想をしたり自分の見方や感じ方を広げ、 粘り強く取り組もうとしている。 ・色や形などに関わり、楽しい生活を創造しようとしている。	授業の様子(作品作り・発言・発表) ワークシート ふりかえり